

豊田地区における
新設小学校設置に関するアンケート調査結果

1. アンケート調査結果

1-1 実施概要

(1) 調査の目的

平成27年4月に定めた、「小中一貫校(豊田中学区)整備等に関する基本構想」により豊田南小、豊田北小を統合し、豊田中との小中一貫教育に適した位置に新設校を設置するとの方針を踏まえ、豊田地区在住市民の意見や考え方等を聴取し、新設校整備具体化に向けた条件を整理するための基礎資料として活用するため、アンケート調査を実施するものです。

(2) 調査の概要

1) 対象、抽出、配布・回収方法

豊田南小学校区、豊田北小学校区内に在住の世帯のうち、下記の合計634世帯

①小学生以下の子どもがいる全世帯：317世帯（住民基本台帳より抽出）

②上記①以外の世帯：317世帯（住民基本台帳より無作為抽出）

配布・回収はいずれも郵送による。

2) 実施期間

平成27年10月9日（金）～23（金）の2週間

3) 配布・回収数、回収率

回収票数 317票 / 配布数 634票 = 50.0%

		配布数	回収数	回収率
総計		634票	317票	50.0%
内訳	①小学生以下の子どもがいる世帯	317票	163票	約51.4%
	②その他の世帯	317票	154票	約48.6%

※同居人が不明の世帯は、その他の世帯として、カウントしている。

4) 集計方法

単純集計及びクロス集計

5) 設問項目

主な設問項目は以下のとおりです。

- 属性（性別、年齢、居住年数、子どもの年齢、通学学区）
- 小学校環境の重要項目について（校舎の外観、教室などの配置、緑環境、安全性など）
- 新たな小学校の環境・施設について（望まれる統合校の姿等に係る各種環境・施設）
- 新たな小学校に取り入れるべきものについて（各種導入機能、空間構成など）
- 新たな小学校のイメージについて（キーワード）
- 学校整備後の活用方法等について（有効活用方策、地域との関わりなど）
- 自由回答（新設校整備に関する意見・要望等）

1-2 アンケート調査結果概要

(1) 調査結果の概要

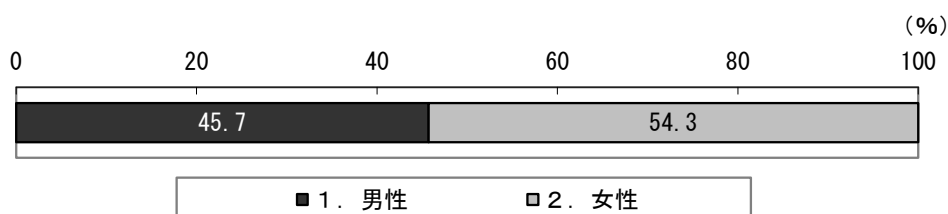
ここでは、アンケート調査結果の概要を示します。

A. 単純集計

1) 性別【問1】

○ 女性の回答率が5割を超え、男性よりも若干高くなっています。

回答者の性別は、「1. 男性」は45.7%、「2. 女性」は54.3%で若干女性の方が多くなっています。



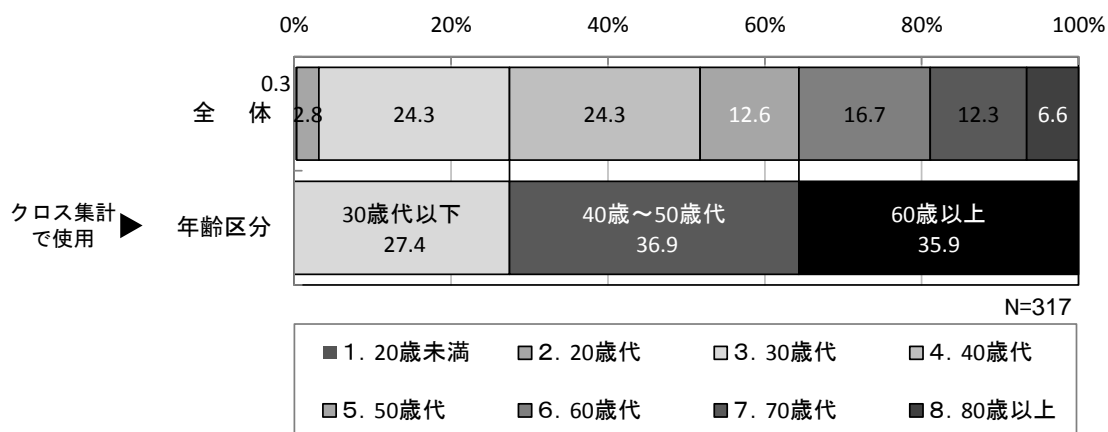
2) 年齢【問2】

○ 30歳代、40歳代が、ほぼ4分の1ずつを占め多くなっています。

回答者の年齢は、30、40歳代が同率の約1/4 (24.3%) で最も多く、次いで60歳代が16.7%となっています。

対象者として小学生以下のいる子どもがいる世帯を抽出しているため、必然的にそれらの世代が多くなるものの、地区全体としても比較的若い世代の居住者が多いと言えます。

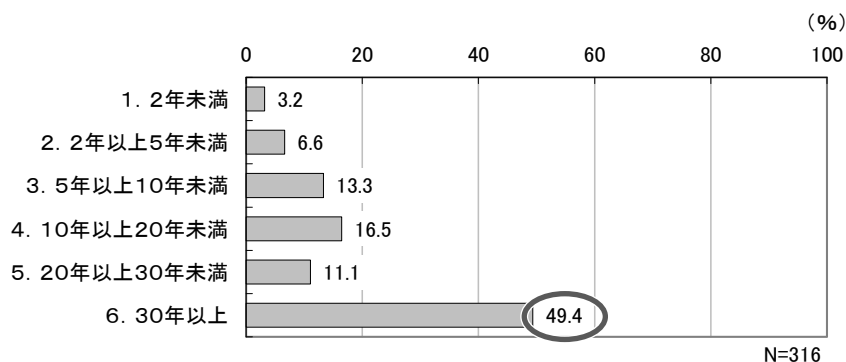
なお、クロス集計の際には、内訳の3区分で分析を行います。



3) 居住年数【問3】

○ 30年以上居住している人が約5割を占め、最も多くなっています。

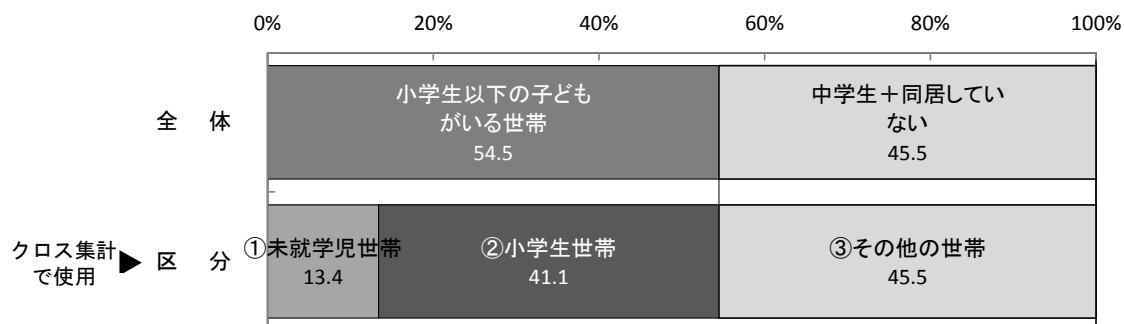
「6. 30年以上」が約半数（49.4%）で特に多くなっており、地域に長く住んでいる方が多い傾向となっています。その他、「4. 10年以上20年未満」も比較的多くなっています。



4) 子どもの年齢・学年【問4】

○ 小学生以下の子どもがいる世帯が半数以上を占めています。

「小学生以下の子どもがいる世帯」は半数以上（54.5%）であり、その内訳を見ると、「①未就学児世帯」が全体の13.4%、「②小学生世帯」が41.1%となっています。また、「③その他の世帯」は45.5%となっています。なお、クロス集計の際には、以下の3区分で分析を行います。



※同居人不明を除く

※小学生がいる世帯は、未就学児、中学生がいる場合でも小学生世帯として、カウントしている。

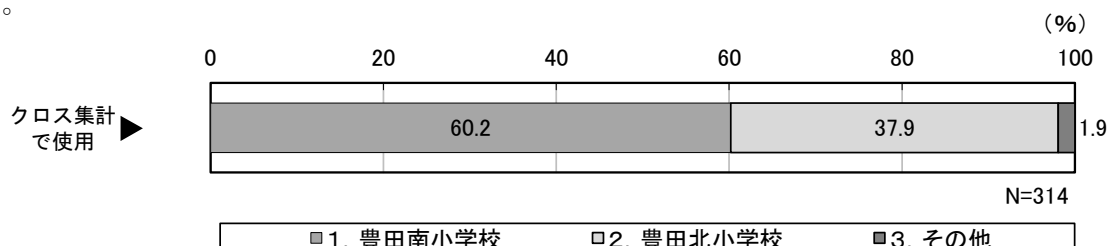
N=299

5) 住まいの小学校区【問5】

○ 豊田南小学校区が約6割と多くなっています。

住まいの小学校区は「1. 豊田南小学校」が約6割（60.2%）で多くっており、「2. 豊田北小学校」が4割弱（37.9%）となっています。

なお、クロス集計の際には、「1. 豊田南小学校」、「2. 豊田北小学校」の2区分で分析を行います。



6) 学校環境の重要度【問6】

○ 全体的に重要度が高い傾向で、安全性、防犯性、通学路環境などが特に重要視されています。

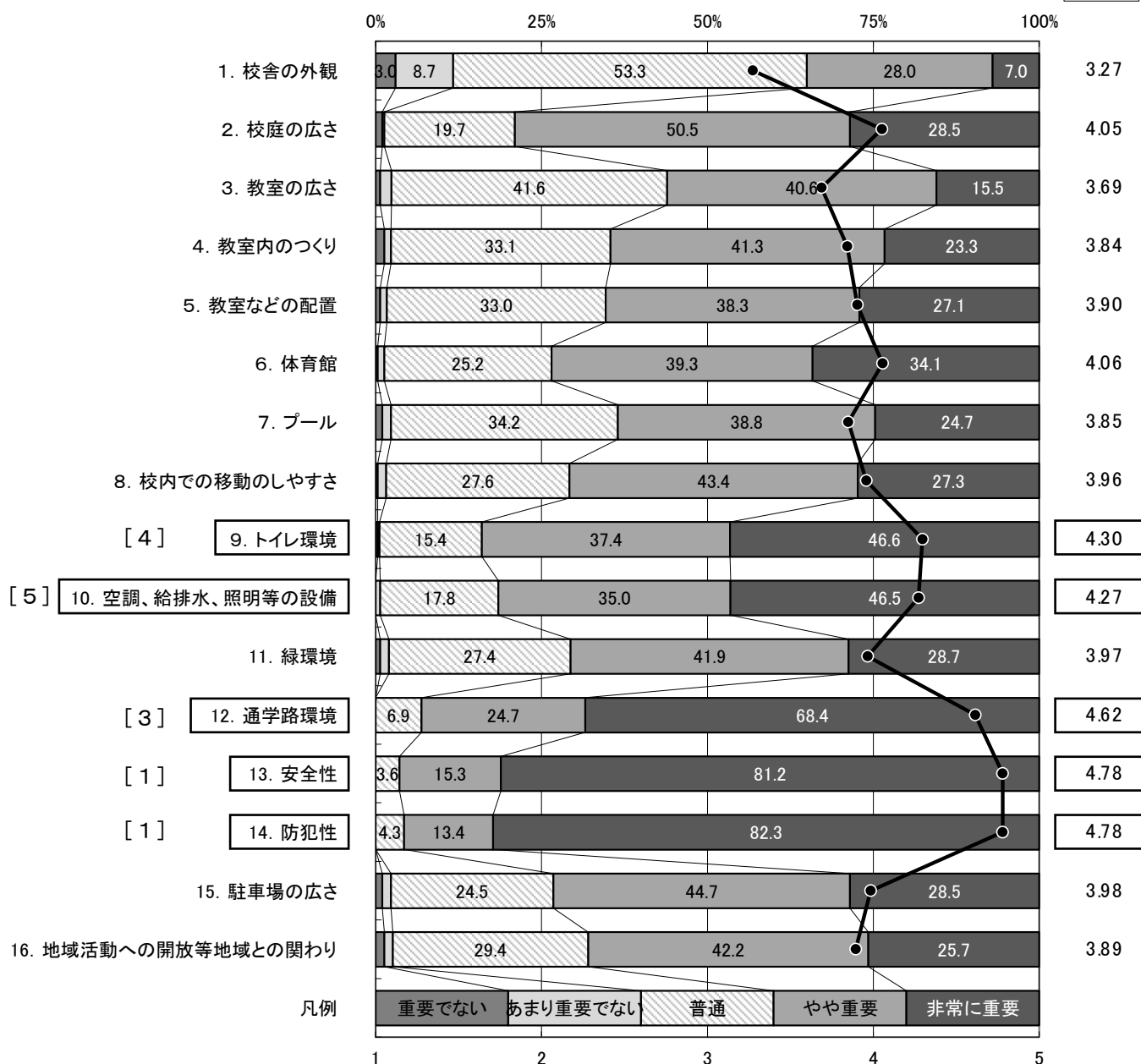
全ての項目で重要度の平均値が3.00を超えており、全体的に重要視している傾向が見て取れます。その中でも最も重要度が高いのは、「13) 安全性」、「14) 防犯性」が4.78であり、次いで、「12) 通学路環境」の4.62となっており、学校内外での安全性、防犯性が非常に重要視されていると言えます。

次いで、「9) トイレ環境」の4.30、「10) 空調、給排水、照明等の設備」の4.27が多くなっており、清潔で快適な学校の設備環境づくりも重要であると捉えられています。

(*) 平均値は、「非常に重要」を5、「やや重要」を4、「普通」を3、「あまり重要でない」を2、「重要でない」を1とした場合の値です。「普通」の3を基準に、数値が大きい方が、より重要度が高い結果となっています。

平均値総計:4.08

平均値



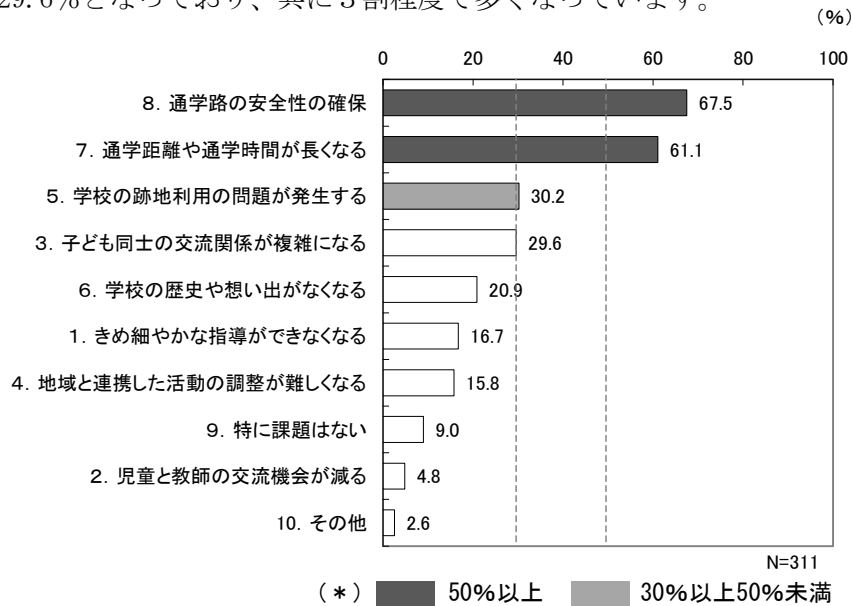
※割合が2.0%のものはグラフの煩雑さを避けるため数値記載を省略しています。
※ [] 内の数値は平均値の順位。

7) 新設小学校整備の課題【問7】

○ 通学路の安全性の確保、通学距離・時間が長くなることが課題として大きく捉えられています。

「8. 通学路の安全性の確保」が67.5%、「7. 通学距離や通学時間が長くなる」が61.1%と特に多くなっており、通学環境の充実を課題と考え、関心が高くなっていると言えます。

次いで、「5. 学校の跡地利用の問題が発生する」が30.2%、「3. 子ども同士の交流関係が複雑になる」が29.6%となっており、共に3割程度で多くなっています。

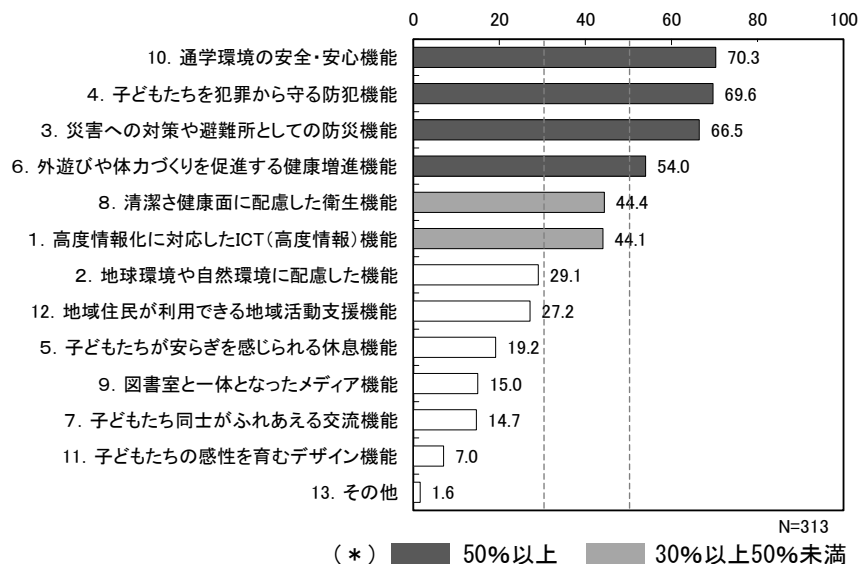


8) 新しい小学校に積極的に取り入れる機能【問8】

○ 通学環境の安全・安心機能や防犯機能、防災機能などの積極的導入が求められています。

「10. 通学環境の安全・安心機能」、「4. 子どもたちを犯罪から守る防犯機能」が共に7割程度で多くなっています。次いで「3. 災害への対策や避難所としての防災機能」も7割弱(66.5%)となっており、学校が担う地域防災拠点としての役割に期待していることがうかがえます。

また、「6. 外遊びや体力づくりを促進する健康増進機能」が次いで高くなっており、健康的で元気な子どもたちの育成について求められていると考えられます。

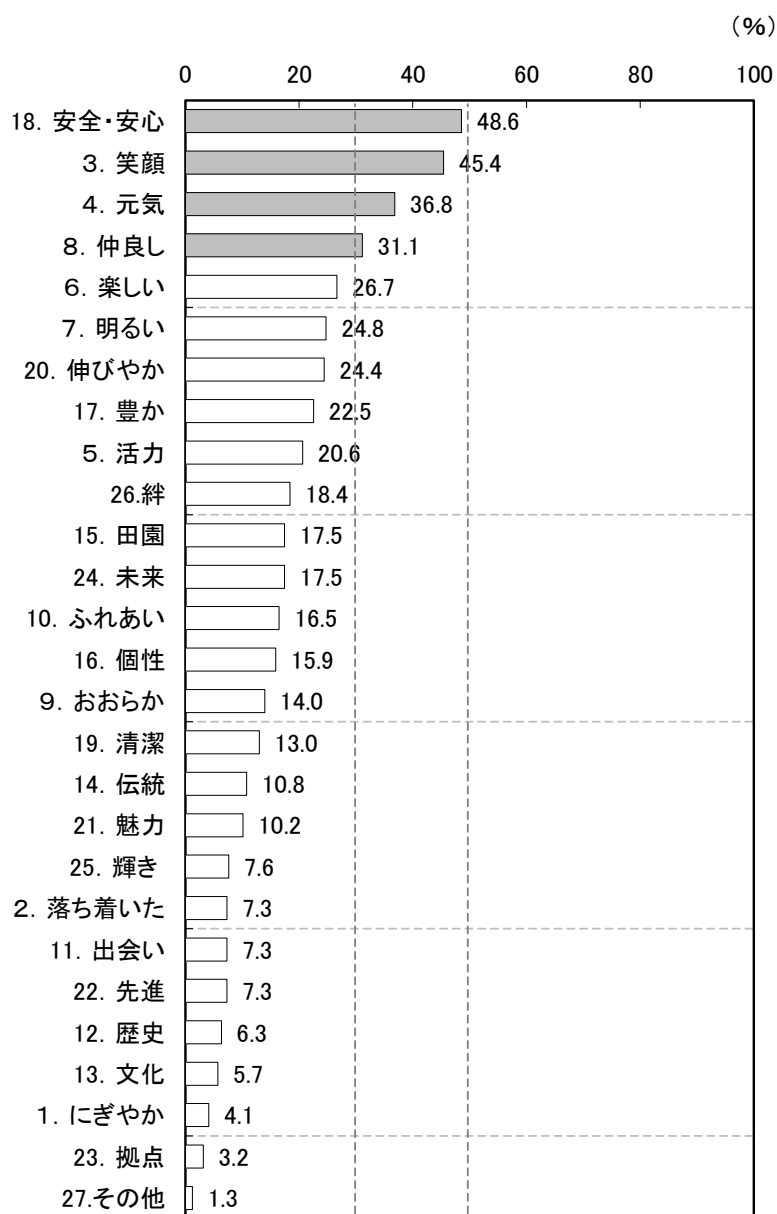


9) 新設小学校をイメージするキーワード【問9】

○ 「安全・安心」、「笑顔」が新設小学校をイメージするキーワードとして半数以上を占めています。

全体の30%以上を占めた上位4つのキーワードは、順に「18. 安全・安心」、「3. 笑顔」、「4. 元気」、「8. 仲よし」となっています。

中でも「18. 安全・安心」、「3. 笑顔」は半数程度を占めています。子どもたちが安全・安心な学校で、笑顔で元気に仲良く過ごせる学校となってほしいという思いが強くあることがうかがえます。



N=315

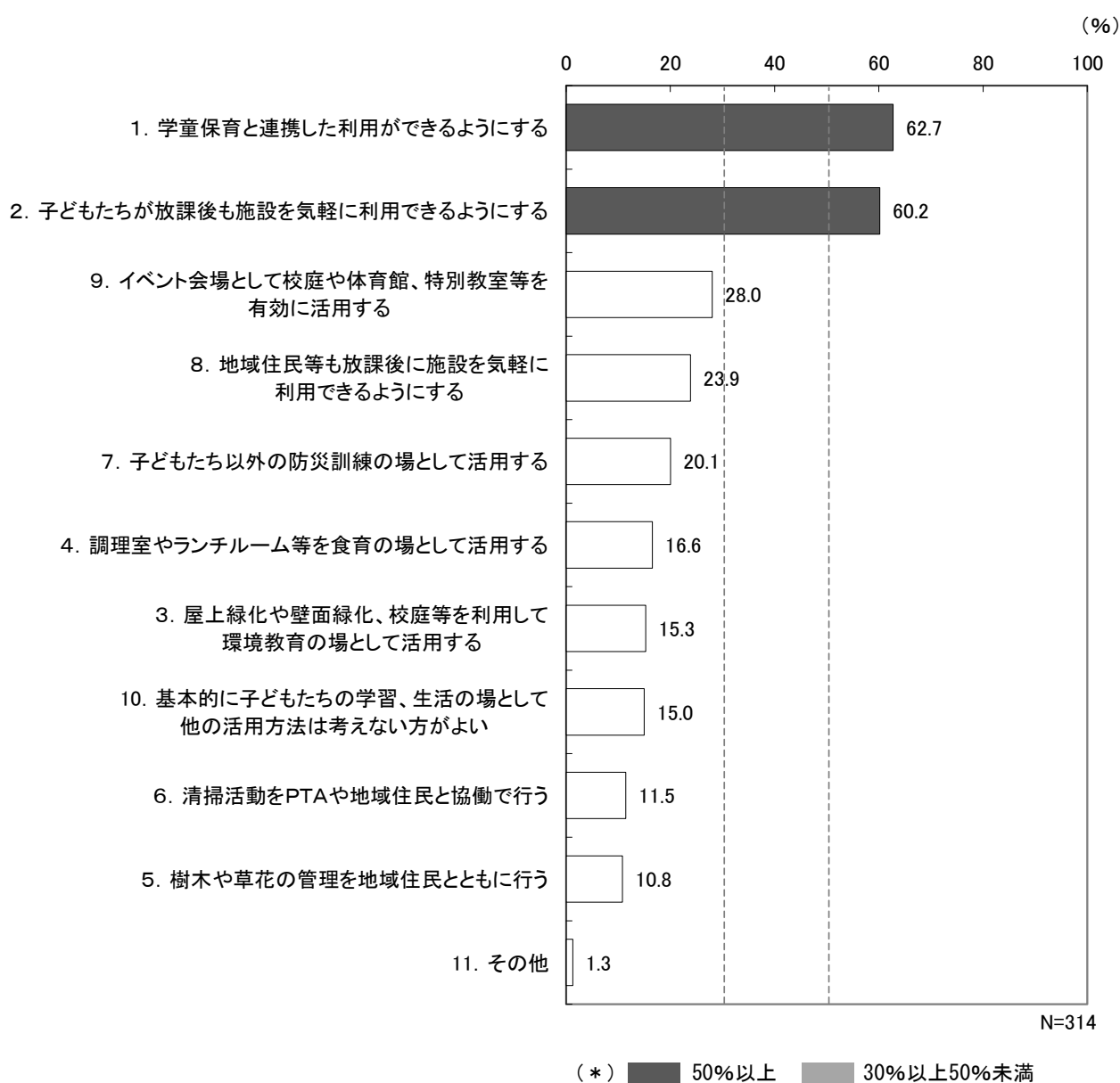
(*) ■ 50%以上 ■ 30%以上50%未満

10) 小学校教育以外の活用方法【問10】

○ 子どものための柔軟な学校利用や、地域に開放された学校利用が多く望まれています。

上位2項目は「1. 学童保育と連携した利用ができるようにする」が62.7%、「2. 子どもたちが放課後も施設を気軽に利用できるようにする」が60.2%となっており、共に6割以上を占め、特に多くなっています。子どものための柔軟な学校の利用環境の充実が求められていると言えます。

また、「9. イベント会場として校庭や体育館、特別教室等を有効に活用する」や「8. 地域住民等も放課後に施設を気軽に利用できるようにする」についても比較的多くなっており、地域に開放された学校利用が望まれていることがうかがえます。



B. クロス集計

【問9】新設小学校をイメージするキーワード × 【問2】年齢（3区分）

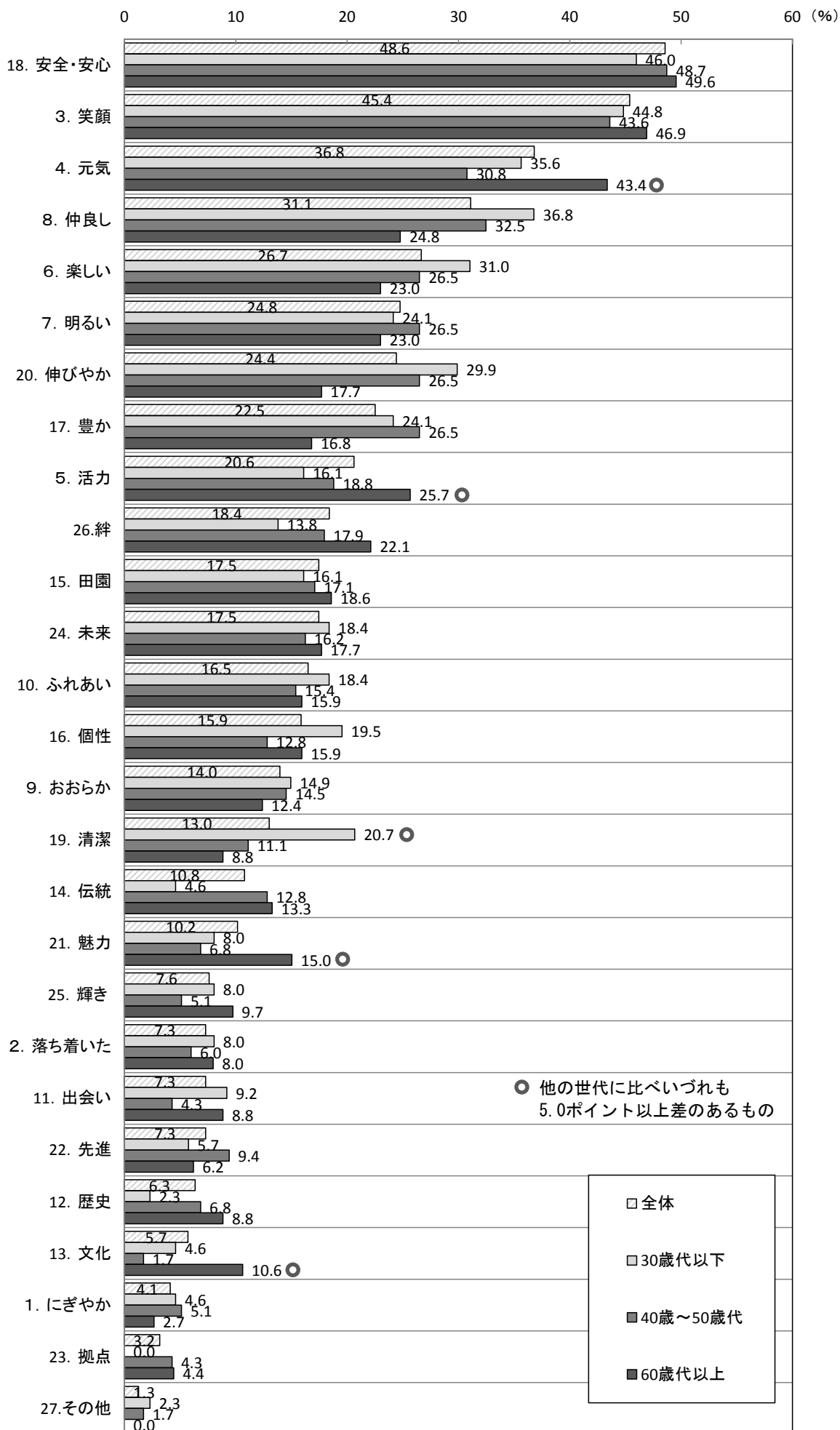
○ 30歳代以下では「個性」や「清潔」が、40歳代～50歳代では「先進」が、60歳以上では「魅力」、「歴史」、「文化」が、他の世代に比べ多くなっています。

年齢（3区分）別に新設小学校をイメージするキーワードの違いを把握するものです。

30歳代以下では、「8. 仲良し」、「6. 楽しい」、「20. 伸びやか」、「16. 個性」、「19. 清潔」が他の年齢層に比べ多くなっており、特に「16. 個性」、「19. 清潔」については、他の世代に比べ高い割合を示しています。

40歳代～50歳代では、「7. 明るい」、「17. 豊か」、「22. 先進」が他の世代に比べ高い割合となっています。総体的な割合は少ないものの、「22. 先進」について他の世代との違いが現れています。

60歳代以上では、「3. 笑顔」、「4. 元気」、「5. 活力」、「26. 絆」、「21. 魅力」、「13. 文化」、「12. 歴史」などが、他の世代に比べ高い割合を示しています。総体的な割合は少ないものの、「21. 魅力」、「13. 文化」、「12. 歴史」について他の世代との違いが現れています。



【問9】新たな小学校のイメージ × 【問4】子どもの年齢・学年（3区分）

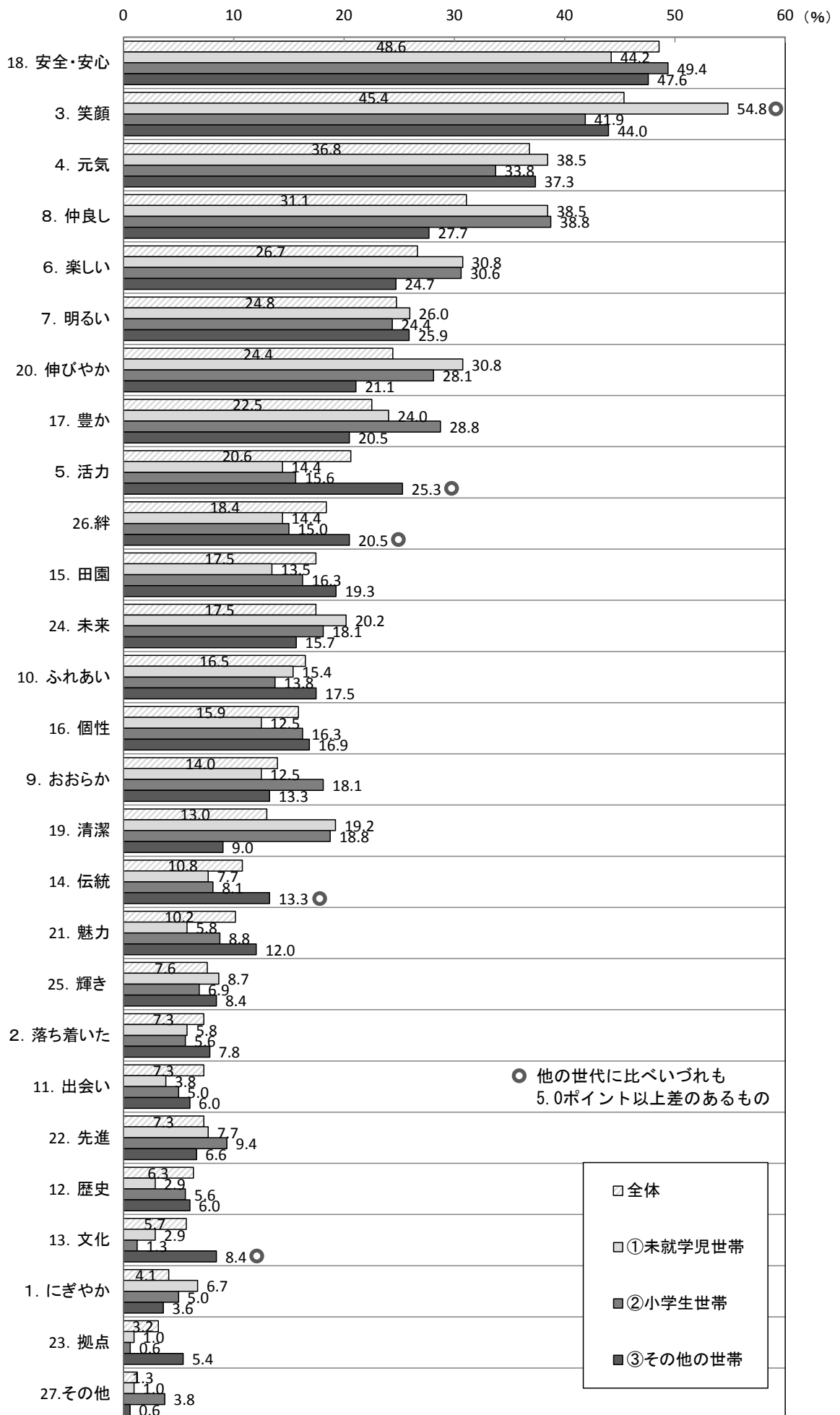
○ 未就学児世帯では「笑顔」が、小学生世帯では「豊か」が、その他の世帯では「活力」が、他の世帯に比べ多くなっています。

子どもの年齢・学年（3区分）別に新設小学校をイメージするキーワードの違いを把握するものです。

未就学児世帯では、「3. 笑顔」、「4. 元気」、「20. 伸びやか」、「24. 未来」などが他の世帯より多くなっています。特に、「3. 笑顔」については、大きく他の世帯を上回っているのが特徴的です。

小学生世帯では、「18. 安全・安心」、「17. 豊か」、「9. おおらか」などが他の世帯より多くなっています。その中では「17. 豊か」が比較的他の世帯より高い割合を示しています。

その他の世帯では、「5. 活力」、「26. 絆」、「15. 田園」、「14. 伝統」、「13. 文化」などが他の世帯より多くなっています。特に「3. 活力」が他の世帯を大きく上回っているのが特徴的です。



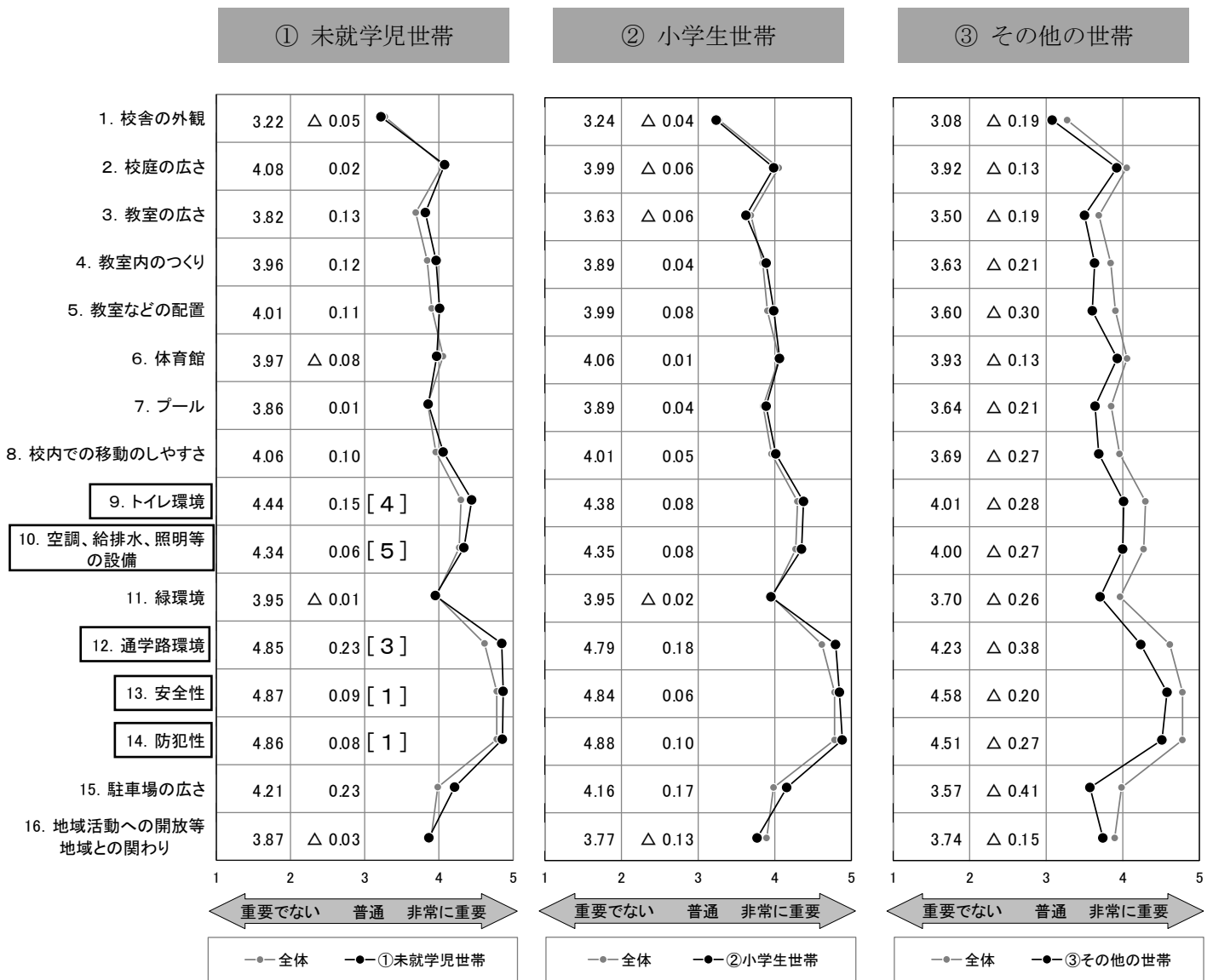
【問6】 小学校の環境の重要度 × 【問4】 子どもの年齢・学年（3区分）

○ 各層とも全体と同様の傾向を示し、「安全性」、「防犯性」、「通学路環境」、「トイレ環境」、「空調、給排水、照明等の設備」はいずれの層でも重要視されています。

子どもの年齢・学年（3区分）別に新設小学校の環境重要度の違いを把握するものです。

各層で全体と似た傾向を示していますが、「①未就学児世帯」の重要度が総合的に一番高く、次いで、「②小学生世帯」、「③その他の世帯」となっており、「③その他の世帯」の平均値は、全体の平均値より全項目で低くなっています。

また、全体で重要度が高かった上位5位の「13. 安全性」、「14. 防犯性」、「12. 通学路環境」、「9. トイレ環境」、「10. 空調、給排水、照明等の設備」は、各層でもほぼ同様の順位となっています。



※各層のグラフ左側の数値は項目毎の各層の平均値。
 ※各層のグラフ右側の数値は各層平均値から全体の平均値を引いた値。
 ※ [] 内の数値は全体の平均値の順位

【問7】新設小学校整備の課題 × 【問5】住まいの小学校区（2区分）

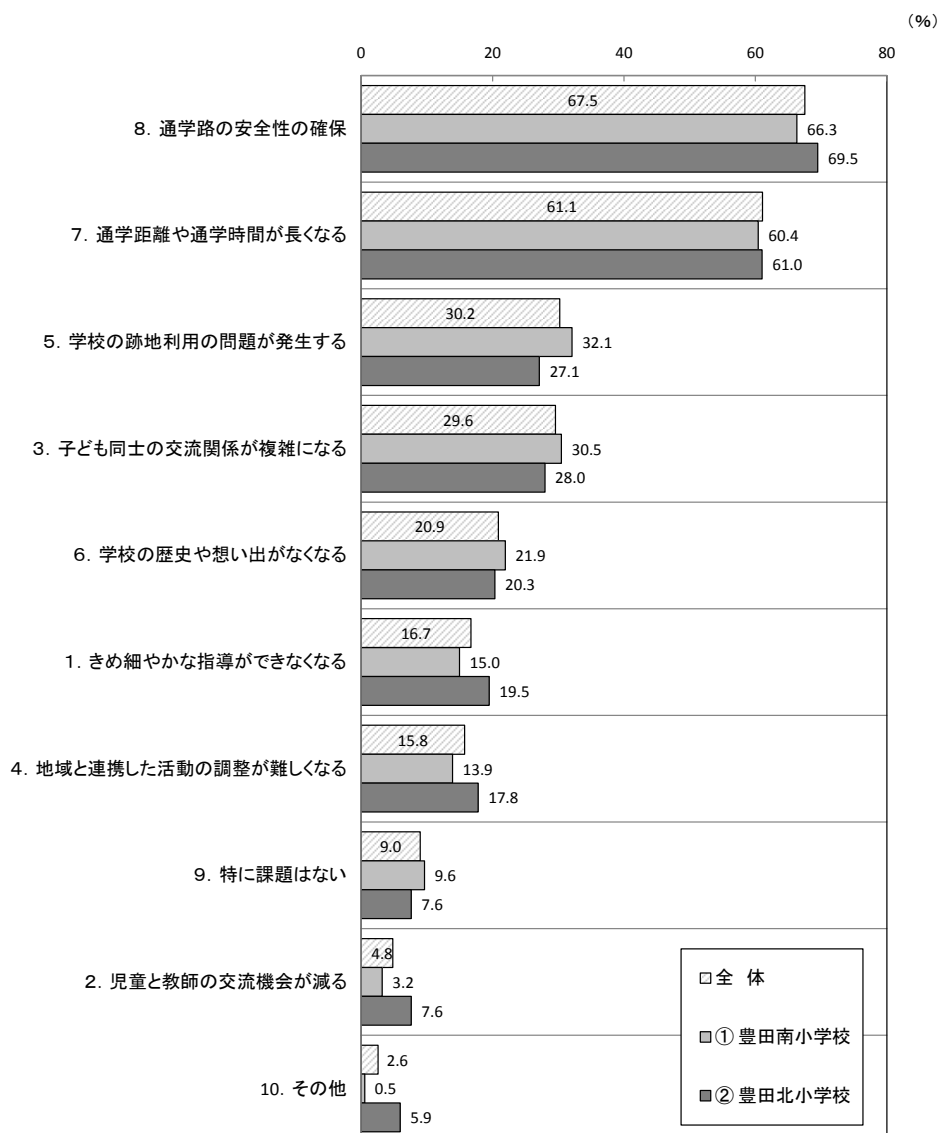
○ 学区の違いによる大きな差異は見られないものの、豊田南小学校区では「学校の跡地利用の問題が発生する」などが、豊田北小学校区では「通学路の安全性の確保」などが、他方より高い割合を示しています。

住まいの学区（2区分）別に新設小学校整備の課題の違いを把握するものです。

学区の違いによる大きな差異は見られず、概ね全体と同様の傾向を示しています。

その中で、豊田南小学校区では「5. 学校の跡地利用の問題が発生する」、「3. 子ども同士の交流関係が複雑になる」、「6. 学校の歴史や思い出がなくなる」などが豊田北小学校区より多い割合を示しています。

豊田北小学校区では、「8. 通学路の安全性の確保」、「7. 通学距離や通学時間が長くなる」をはじめ、「1. きめ細やかな指導ができなくなる」、「4. 地域と連携した活動の調整が難しくなる」が豊田南小学校区より多い割合を示しています。



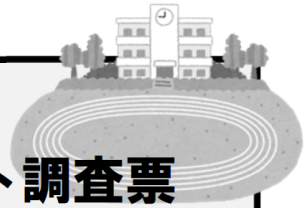
(2) 調査結果のまとめ

アンケート集計結果より、新設校整備に関して、主な地域住民の方のニーズや考えを以下のように整理します。

- 全体の回収率が高く、新たな小中一貫校の整備に対し大きな関心を抱いていること。
- 学校内外での安全性、防犯性が非常に重要視されているとともに、清潔で快適な学校の設備環境づくりも重要であると捉えられていること。
- 通学距離が遠くなる懸念から、特に通学環境の安全・安心機能や防犯機能に対する配慮が高く求められていること。
- 学校が担う地域防災拠点としての役割に期待していること。
- 健康的で元気な子どもたちの育成が求められていること。
- 子どもたちが安全・安心な学校で、笑顔で元気に仲良く過ごせる学校となつてほしいという想いが強いこと。
- 学校の地域開放など柔軟な学校の利用環境の充実が求められていること。
- 協働の取り組みにはそれほど積極的ではないこと。

※返信期日は「平成27年9月関東・東北豪雨」のため10月23日に変更しています。

豊田地区における 新設小学校設置に関するアンケート調査票



本調査は「国勢調査」とは別の調査です。

調査票のご記入にあたって

- ご回答は、**平成27年9月1日現在**でお答えください。
 - ご記入には、黒の鉛筆、ボールペン、サインペンなどではっきりと記入してください。
 - 回答は、質問の指示に従ってあてはまる番号に○印をつけてください。複数回答の場合もありますので、設問の指示にご注意願います。また、「その他」を選ばれたときは、具体的な内容を()内にお書き添えください。
 - ご回答いただきましたこの調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**平成27年9月30日（水）までに**投函してください。
 - 調査結果はすべてコンピューターで統計的に処理し、その他の目的に使用することはありませんので、ご回答いただいた方にご迷惑をおかけすることはございません。
 - 調査に関してご不明な点などございましたら、下記までお問い合わせください。
- ※ 同一世帯に複数のお子様がいいらっしゃる場合、無作為の1名の名前を表示し送付させていただきましたので、ご了承ください。

《お問い合わせ先》

小山市 教育委員会 教育総務課 電話：0285-22-9658
〒323-8686 小山市中央町1丁目1番1号 中央市民会館(文化センター)2階

設問はここからはじめます。

■はじめに、あなたやご家族の状況等についてお聞きします。

問1. あなたの性別をお答えください。あてはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

1. 男性 2. 女性

問2. あなたの年齢をお答えください。あてはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

1. 20歳未満 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代
5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代 8. 80歳以上

問3. あなたは現在お住まいの場所に何年お住まいですか。あてはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

1. 2年未満 2. 2年以上5年未満
3. 5年以上10年未満 4. 10年以上20年未満
5. 20年以上30年未満 6. 30年以上

■ 新たな小学校整備にあたっての課題についてお聞きします。

問7. あなたは、新たな小学校整備にあたって、どのような課題があると思いますか。次の中からあなたのお考えに近いものを3つまで選んで、その番号に○印を付けてください。

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. きめ細やかな指導ができなくなる | 2. 児童と教師の交流機会が減る |
| 3. 子ども同士の交流関係が複雑になる | 4. 地域と連携した活動の調整が難しくなる |
| 5. 学校の跡地利用の問題が発生する | 6. 学校の歴史や思い出がなくなる |
| 7. 通学距離や通学時間が長くなる | 8. 通学路の安全性の確保 |
| 9. 特に課題はない | |
| 10. その他 () | |

■ 新たな小学校整備にあわせ、積極的に取り入れるべきと思うものについてお聞きします。

問8. あなたは、新たな小学校の整備にあわせ、どのような機能を積極的に導入、配置すればいいと思いますか。次の中からあなたのお考えに近いものを5つまで選んで、その番号に○印を付けてください。

1. 「高度情報化に対応したICT機能」(パソコンルームの配置やインターネット環境の整備など)
2. 「地球環境や自然環境に配慮した機能」(太陽光や雨水の利用、木材の利用など)
3. 「災害への対策や避難所としての防災機能」(十分な耐震性の確保や備蓄設備、発電設備の充実など)
4. 「子どもたちを犯罪から守る防犯機能」(要所への防犯カメラの設置、通報システムなど)
5. 「子どもたちが安らぎを感じられる休息機能」(ゆとりある空間確保やベンチ等の設置など)
6. 「外遊びや体力づくりを促進する健康増進機能」(広い校庭や低学年用広場、芝生広場の設置など)
7. 「子どもたち同士がふれあえる交流機能」(交流ルームや各種発表、展示場所の配置など)
8. 「清潔さ健康面に配慮した衛生機能」(明るく清潔なトイレ、手洗い場の配置など)
9. 「図書室と一体となったメディア機能」(蔵書の充実や各種情報、映像資料の閲覧システムなど)
10. 「通学環境の安全・安心機能」(スクールバスの運行や通学路の安全対策など)
11. 「子どもたちの感性を育むデザイン機能」(校舎や室内空間等への個性的な色彩や形態の採用など)
12. 「地域住民が利用できる地域活動支援機能」(運動施設、交流ルーム等の休日あるいは夜間開放など)
13. その他 ()

質問は裏面に続きます。

■ 新しい小学校の姿としてイメージされるふさわしい言葉についてお聞きします。

問9. あなたは、豊田地区に整備される新しい小学校のイメージとして、どのような言葉（キーワード）がふさわしいと思いますか。

次の中からあなたのお考えに近いものを5つまで選んで、その番号に○印を付けてください。

- | | | | | |
|---------|-----------|-----------|---------|----------|
| 1. にぎやか | 2. 落ち着いた | 3. 笑顔 | 4. 元気 | 5. 活力 |
| 6. 楽しい | 7. 明るい | 8. 仲良し | 9. おおらか | 10. ふれあい |
| 11. 出会い | 12. 歴史 | 13. 文化 | 14. 伝統 | 15. 田園 |
| 16. 個性 | 17. 豊か | 18. 安全・安心 | 19. 清潔 | 20. 伸びやか |
| 21. 魅力 | 22. 先進 | 23. 拠点 | 24. 未来 | 25. 輝き |
| 26. 絆 | 27. その他 (| | |) |

■ 新しい小学校が整備された後、小学校教育以外の活用方法についてお聞きします。

問10. あなたは、新しい小学校が建設された後、どのように活用できればよいと思いますか。

次の中からあなたのお考えに近いものを3つまで選んで、その番号に○印を付けてください。

1. 学童保育と連携した利用ができるようにする。
2. 子どもたちが放課後も施設を気軽に利用できるようにする。
3. 屋上緑化や壁面緑化、校庭等を利用して環境教育の場として活用する。
4. 調理室やランチルーム等を食育の場として活用する。
5. 樹木や草花の管理を地域住民とともに行う。
6. 清掃活動をPTAや地域住民と協働で行う。
7. 子どもたち以外の防災訓練の場として活用する。
8. 地域住民等も放課後に施設を気軽に利用できるようにする。
9. イベント会場として校庭や体育館、特別教室等を有効に活用する。
10. 基本的に子どもたちの学習、生活の場として他の活用方法は考えない方がよい。
11. その他 ()

■ その他、新設小学校整備に関してご意見などをご記入ください。

問11. 豊田地区における新設小学校整備に関するご意見やご要望、アイデアなどがありましたら、下欄にその内容を簡潔にご記入ください。

以上で、質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。